

(様式2)

公立大学法人青森公立大学

平成22年度 業務実績評価書

平成23年8月

青森市地方独立行政法人評価委員会

目 次

I	評価の基本的な考え方	1頁
II	全体評価	
1	総評	3頁
2	業務の実施状況	4頁
3	組織、業務運営等に係る改善事項等	5頁
III	項目別評価	
1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	6頁
2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	7頁
3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	7頁
4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	8頁
5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	8頁
6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	9頁
7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	9頁

I 評価の基本的な考え方等

青森市地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、公立大学法人青森公立大学（以下「法人」という。）の平成22年度における業務実績について評価を行った。

評価の実施に当たっては、法人の年度計画に定めた事項ごとにその実績等を明らかにした業務実績報告書及び法人への聴取等に基づき調査・分析を行うとともに、その結果を踏まえて「項目別評価」及び「全体評価」を行った。

1 項目別評価

調査・分析の結果を踏まえ、中期計画の次の事項（以下「大項目」という。）ごとに、中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階により評価する。なお、教育研究については、その特性に配慮し、専門的な観点からの評価は行わず、事業の外形的な進捗状況を評価する。

【大項目】

- ①教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）
- ②教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）
- ③教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）
- ④業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画
- ⑤財務内容の改善に関する目標を達成するための計画
- ⑥自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画
- ⑦その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画

【5段階評価】

- 5：中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
- 3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
- 2：中期計画の達成のためには進捗がやや遅れている。
- 1：中期計画の達成のためには進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある。

2 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、平成22年度における業務実績の全体について、記述式により市民がわかりやすい総合的な評価を行う。また、必要がある場合は、法人に対する業務運営の改善その他の勧告事項を記載する。

3 青森市地方独立行政法人評価委員会委員

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	林 光男	青森商工会議所会頭
委 員	木下 智博	日本銀行青森支店長
委 員	井畑 明男	株式会社青森銀行顧問 (前社団法人青森県経営者協会会長)
委 員	石田 隆志	日本労働組合総連合会青森県連合会会長
委 員	成田 正行	公立大学法人青森県立保健大学事務局長

II 全体評価

1 総評

公立大学法人青森公立大学は、経営経済の分野の諸問題について地域性を軸にした理論的・実証的研究を推進し、その研究成果に基づいて、広く社会に有為な人材を輩出し、更には大学が存在する地域を中心として国内外に大学が持つ知財を還元し、貢献するという使命を帯びている。

平成21年度の法人化以降、理事長、副理事長のリーダーシップのもと、本学に求められている使命を明確に果たすために、大学運営に関する問題点を検証し、改善する運営体制を整え、魅力ある大学への大学改革に取り組んでいる。特色ある教育・高い研究水準・実践的な地域に密着した貢献という基本事業に関する戦略的な取組みが行われるとともに、前年度に引き続き、業務運営の改善及び効率化等により利益を上げるなど、全学一丸となつての取組みが行われている。

取組みの中では、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に採択され、平成22年度から平成26年度までの期間で実施している「全国最下位の有効求人倍率下での就業力向上」の事業により、学生のキャリアについての意識向上を図るため、初年次より「地元企業及び首都圏の就職情報の提供」及び「キャリア形成教育」の体制を整えるとともに、学生個々の就職意識を醸成するため、就職希望状況に合わせた履修指導や就職指導、また新規の企業開拓を強化するなどの対応を行った結果、全国的に低迷している就職率が、本学において向上したことは高く評価できる取組みと認められる。今後とも、就職率向上に向けた継続した取組みが求められる。

また、地域貢献活動は、公開講座などによる研究活動の地域還元、エクステンション教育による社会人教育に加え、東北新幹線新青森駅開業を踏まえた観光英語講座を開設するなど、地域貢献活動は計画を上回って実施されており、地域住民にとってより身近な大学になるための積極的な取組みと認められる。

総じて言えば、法人化2年目の平成22年度は、各取組みがほぼ計画どおり実施されており、中期計画の目標達成に向けておおむね順調な進捗状況にあると評価できる。

一方、年度計画を十分には実施していない取組みも一部認められた。評価の基準となる年度計画については、内容をより中期計画に即したものにすることは当然であるが、年度計画を達成できなかった取組みについては、その内容を十

分に精査し速やかに改善することが求められる。

2 業務の実施状況

全体として、年度計画に定めた実施項目はほぼ着実に実施されており、大項目として定めている教育、研究、地域貢献、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供、その他業務運営の7つの各大項目において、十分には実施していない取組みも一部認められるものの、特に大きな問題は見られない。業務の実施状況は、中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。

法人としての目的を達成するためには、中期計画の達成年度に拘ることなく前倒しで取組み、十分な検証を行う必要がある。

大学の教育研究等の質の向上に関しては、全国的な就職率の低迷に対処するため、キャリア支援の充実、インターンシップ制度の充実など、学生の就職意識を向上させるキャリア支援体制を強化し、就職先の新規開拓について迅速に対応したこと、新入生に対するリメディアル教育やガイダンス、実社会への対応を見据えたカリキュラム編成など、学生の質の向上に対する様々な取組みに対して、大学としての責任と意欲を高く評価する。

地域貢献に関しては、地域貢献を更に充実させるため地域連携センターの設置に向けて準備するとともに、エクステンション教育の充実、大学間連携として公立大学法人青森県立保健大学との単位互換協定の締結、高校生を対象とした出前講座の実施など、高校と大学の連携活動は着実に実施されている。

また、国際芸術センター青森を活用した教育プログラム、公開講座等の研究成果の地域への還元は、計画を上回って実施されるとともに、新幹線開業を踏まえた観光英語教育を市民対象に行うなど、より積極的な地域への貢献度も高く評価される。

業務運営の改善及び効率化に関しては、法人化後1年間の実績・活動状況を踏まえ、戦略的かつ機能的な大学運営を可能とする組織体制を検討するとともに、人事の適正化を図るため、教職員に関する雇用、人事等の新しい人事制度の方向性を検討している。

財務内容の改善に関しては、受験生の確保に向けた積極的な取組み、経費節減への取組みを着実に実施しているが、

自己収入の更なる増加の観点から、外部資金獲得に係る諸規程を早期に整備し、外部資金獲得には積極的に取り組む必要がある。

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関しては、自己評価委員会を設置し、自己点検評価体制を再構築するため見直しを行うとともに、平成23年度に行われる認証評価機関による第三者評価にもよく対応している。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

特に改善勧告を要する事項はない。

Ⅲ 項目別評価

1	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（教育）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>学生の育成に関して、全国的な就職率の低迷に対処するため、キャリア支援の充実、インターンシップ制度の充実など、学生の就職意識を向上させるキャリア支援体制を充実・強化させ、就職先の新規開拓について迅速に対応したことにより、結果として就職率の向上につながったことは、大学間の競争力向上や入学希望者の増加につながるものとして評価できるものである。</p> <p>教育内容等に関して、入学当初から就職活動や職業生活へと結び付けさせるため、キャリア教育を初年次から配置するなど、就業力の育成を図っている。</p> <p>また、フィールドワーク等による実社会を教育現場とする体験的学習の充実は、就職後において、即戦力として活躍することが期待されるとともに、就職先からの評価にもつながることから、就職率の更なる向上が見込まれるものとして評価できるものである。</p> <p>学生への支援に関して、学生生活を支援・充実させるため、学長と学生が直接対談して改善事項を把握するとともに、学生の要望に対して、実施可能なものから順次改善を行ったことは評価できるものである。</p> <p>一方、情報システムの再構築、独自の奨学金制度の創設などの問題を抱えていることから、これら課題の解決に向けて着実な推進が求められる。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

2	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（研究）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>研究内容に関して、基礎的及び応用的研究全般にわたる推進体制を改革するため、研究推進会議を設置することとし、研究推進活動、研究成果発信、外部資金獲得支援等を行うものであり、研究の質の向上のみならず、教育の質の向上にもつながるものとして評価できるものである。</p> <p>研究水準及び研究成果に関して、地域に貢献する高等教育機関としての機能を発揮するため、計画以上に公開講座を実施し、積極的に研究成果を社会に還元したことは評価できるものである。</p> <p>また、学内における研究費制度について、実績主義・プロジェクト方式の導入など、研究に対するインセンティブを高める仕組みづくりに向けた検討は、研究の質の向上だけではなく、結果として、科学研究費の採択数、獲得金額の増加につながることから、今後、科学研究費等の外部資金の獲得について、具体的な対応策の策定が求められる。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

3	教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための計画（地域貢献）	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>地域連携の強化に関して、今後の地域貢献を更に充実させるため、既設の地域研究センター等を統括する地域連携センターの設置に向けて準備するとともに、エクステンション教育による社会人教育の充実、単位互換協定の締結など大学間連携による地域の高等教育のレベル向上、高校生を対象とした出前講座等の実施、オープンキャンパスの充実など高大連携活動は着実に実施されている。</p> <p>地域連携センターについては、大学が持つ知財の情報発信のみならず、地域住民に対する地域貢献の幅が広がることが期待されることから、その内容の充実に努めていただきたい。</p> <p>また、地域の企業、行政機関等との連携については、今後も引き続き、大学が持つ知財を還元し、貢献するという使命を果たすべく、積極的な連携が求められる。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

4	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>全学的な組織体制の構築に関して、法人化後1年間の実績・活動状況を踏まえ、その結果から問題点の洗い出しを行うなど、積極的に組織改革に取り組んでおり、今後、戦略的かつ機動的な大学運営が期待される。</p> <p>人事の適正化に関して、多様で柔軟な人事制度を構築すべく、雇用、人事、評価等の新しい教員の人事制度の方向性を検討している。これらの検討と併せ、人事管理システムの構築及び定員管理計画の策定についても、中期計画の達成には取組みの強化が必要である。</p> <p>広報活動の推進に関して、マスコミを積極的に活用した情報発信について研究するとともに、学外からの情報収集についても取組みの強化が必要である。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

5	財務内容の改善に関する目標を達成するための計画	評価	3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
<p>外部研究資金その他の自己収入の増加に関して、受験生の確保のため、積極的に県外の高校にも訪問し、入学選抜に関する情報提供等を行った結果、入学志願者の増加につながった。また、外部研究資金の獲得のため、教職員に対する情報提供を積極的に行った。</p> <p>経費の抑制に関して、将来ますます厳しくなる財務状況を見据え、契約方法を見直すとともに、職員一丸となって事務局内の業務分担等の見直しを行うなど、積極的に効率的な予算の執行に取り組んでいる。</p> <p>その他の事項に関しては、年度計画の目標をほぼ達しているものと認められることから、全体として、おおむね順調な進捗状況にあると評価できる。</p> <p>なお、社会の経済状況の変化を見極め、外部研究資金等の自己収入の獲得に向けた取組みを推進するとともに、資産管理システムの構築、運営費交付金に過度に依存しない体質強化など、財務内容を改善する積極的な対策が求められる。</p>			

6	自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための計画	評価	4：中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にある。
<p>評価の充実に関して、大学評価の第三者機関である財団法人大学基準協会の認証評価に向け、外部認証評価準備委員会を設置し、自己点検評価を行うなど着実に対応されている。</p> <p>また、自己評価委員会を設置し、自己点検評価体制を再構築するため見直しを行うなど、業務運営の改善に向けた対応が進められており、今後、評価内容の充実が期待される。</p> <p>評価結果の活用に関して、教職員の質の向上を図るため、FD（教員の教育・研究の質の維持・向上を図るための取組み）、SD（職員の資質向上・能力開発のための取組み）活動の積極的な取組みが求められる。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標を達しているものと認められることから、全体として、順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			

7	その他業務運営に関する重要目標を達成するための計画	評価	3：中期計画の達成に向けておおむね順調な進捗状況にある。
<p>施設設備の整備・活用等に関しては、貸出基準等の整備を図るなど、施設の有効活用の促進が求められる。</p> <p>安全管理に関して、図書システムにおいてSSL（情報データの暗号化送受信機能）を導入し、情報システムセキュリティの強化が図られている。</p> <p>人権啓発に関して、各種ハラスメントの防止体制と相談体制を強化するため、相談手順書やQ&Aなどによる普及・啓発に努めるなど、人権教育の推進が着実に進められている。</p> <p>その他の事項に関しても、年度計画の目標をほぼ達しているものと認められることから、全体として、おおむね順調な進捗状況にあると評価できる。</p>			